



広報 No.39

2020年1月

新春号



「第九」 2019年12月15日 コミュニティプラザ平野

令和2年の新春号に寄せて

団長 大森利治

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはお健やかに初春をお迎えのことと存じます。

さて、昨年を振り返ってみますと、新しく令和の御代を迎えるという明るい話題が前半の、そして、台風・水害被害といった暗い話題が後半の記憶の中に残されています。ところで、私達合唱団の一年は如何だったでしょうか。まずニューイヤーコンサートに始まり、春のジョイ・コーラス、秋の大阪市コミュニティ合唱祭、そして年末のクリスマスコンサートと多忙な一年だったと思います。しかし、皆様方にとっては、先生方のご指導に楽しく応えられ、多くのお客様の御支援を得られ充実した一年だったのではないのでしょうか。

話は変わりますが、2020202、この数列は何だと思いませんか。0と2のたった2つの数字で、形は0を中心に左右対象に綺麗に並び、しかも私達にとっては意味があります。そうです、これは、2020年の今年、ひらの混声合唱団創立20周年を、和暦の令和2年に迎えるという記号だと私は意味付けています。私は、ゲンを担ぐとか、ジンクスにこだわるとかにはおおよそ無縁で、関心もない人ですが、この数列を眺めて、今後このような巡り合わせが来るだろうかと考えた時、まず有り得ない、との思いから胸が震えました。いかに優れたコンピュータを駆使しても、和暦が定まりませんので、私達の合唱団は今後こんな素晴らしい数列に巡り合う事はまず出来ないでしょう。皆さん私に同感してくれませんか。そして、この一年を特別に大事にしていきませんか。

そこで、まだ明確にはなっていませんが、20周年を記念して色々な行事を実施したいと考えています。皆様には積極的に参加して頂きたく思います。それに対する考え方として皆様ご承知の「温故知新」と言う言葉を挙げたいと思います。それは辞書には「昔のことを訪ね求めて、そこから新しい知識、見解を導くこと」とあります。つまり、20周年記念行事とは、私達が過去10年を、いや20年を振り返り、そこから次の10年はどうあるのが良いかを考える為にあると考えます。延原先生のご指導にある「音楽を作る」も次の10年の課題だと私は思います。そして、その意味を含んだ企画を考えたいと思っています。また、それ以外にも、皆様から次の10年の課題提案を期待しています。では、今年一年また元気で楽しい合唱を奏でましょう。

クリスマスコンサート



「雀のミサ」

昨年12月15日(日)にコミュニティプラザ平野で開催の第19回平野区クリスマスコンサートは盛況の中終わることができました。これもひとえに先生方のご指導並びに団員の皆さんの努力のたまものです。ご挨拶いただきました大阪市コミュニティ協会平野区支部協議会会長豊田様、平野区長稲嶺様をはじめ、助成・共催・協賛いただきました団体やお世話になりました皆様、賛助出演いただきました皆様に感謝いたします。



お客様の声

♪毎年楽しみなクリスマスコンサートに今年も行くことができ嬉しく思います。合唱の響きが心地良く、鹿岡先生のテノールも最高！オーソレミオまで聴けて得した気分でした。緞帳が上がったとき色鮮やかなブルーのお衣装にどよめきが起こりましたね！素敵でした。楽しい時間をありがとうございます。

♪17~8回来ていますが、毎年続けて開催されているのが凄いです。準備がさぞ大変でしょう。皆さん本当に上手になってこられたと思います。2階席の音響が良くなりましたね！

♪今までは平日の夜の開催で来れなかったが、日曜の午後の開催で来やすくなり、うれしいです。

お気づきでしたか？

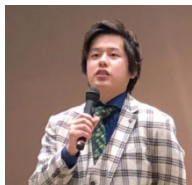
○今年から2階席に行かれるお客様の出入りは、チケット半券で確認するようになりました。2階エレベーター前に確認係が待機されていました。

○例年受付係は合唱団OBの方々をお願いしていますが、今年は加えて「マブララスひらのMerry」からもお手伝いに来ていただきました。ご互いに助け合いの精神で1月11日(土)開催のMerry主催ファミリーコンサートのお手伝いにひら混から5名参りました。



♪オ・ホーリー・ナイト ♪カタリ・カタリ
♪オーソレミオ

反省会&懇親会



鹿岡先生：皆さんお疲れさまでした。ご協力頂いた先生や皆様、本当にありがとうございました。「雀のミサ」、「アヴェ・ヴェルム・コルプス」、「第九」は年々レベルが上がってきているように感じます。

このクリスマスコンサートで5年前に「第九」をソロで歌わせてもらったのが、僕の「第九」デビューでした。実はその後のザ・シンフォニーホールでの「第九」ソロが決まっていた、その前にここで歌わせてもらうことになりました(笑)。その経験のおかげで、ザ・シンフォニーホールでは緊張はしましたがいい雰囲気です。「第九」を歌わせてもらいました。そんなわけで僕にとっても「平野区クリスマスコンサート」は特別な想いで歌わせてもらっています。その後「第九」は20回程歌っていますが、毎回新しい発見があります。

「雀のミサ」の *dona nobis pacem* は、我々に平和・安穩をという意味ですが、この言葉をかみしめながら特に心を込めて歌いました。2020年はめでたい20周年を迎えます。皆さん、元気に頑張りましょう！

乾杯のご挨拶

大阪市コミュニティ協会平野区支部協議会 佐藤事務局長

皆さんお疲れさまでした。私は以前平野区役所に在りまして、この合唱団のことは最初から存じております。「平野区に本格的なクラシックを！」という趣旨で立ち上げたのは区役所でした。募集も区役所でした。5年間してきた所で、あとは皆さんで運営をとなりました。それからは区役所や我々は、お手伝いということで参加させてもらっています。団が育って動いていくのは、皆さんにかかっています。ありがたいことは、延原先生はじめテレマン協会の先生方がずっと関わってきて下さっていることです。

今回は20周年を迎えます、普通年を取っていくのですが、合唱をされている皆さんは若返っておられるように感じます。これからも健康にお気をつけられて、合唱団が続いていきますよう祈念します。乾杯！

テーブルごとの写真 (左から、団員は敬称省く ソプラノ・アルト・テノール・バス)



香川氏夫妻(市コミ協)、稲嶺平野区長、佐藤事務局長(センター)、岩田氏(区役所)、鍋嶋氏(センターOB)、生野氏(センター)



竹村先生、大森、坂野
薬谷先生、中村先生、林先生、鹿岡先生



吉本、浦野、澤田、朝比奈、大西、岡本千賀子、後藤、大西



堂浦、山本、真淵、鳥居、木匠、藤田、裕、河田



橋原、本郷、笠井、笹田、竹田、砂川、喜多、岡本洋子



岩野、川合、前野、島本、林、野中、大野、川西、川口



宇野、秋田、岡本、館、横山、木村、古川 (OB)



山下、米谷、樽井、東、向井、浅野、難波、内山



萩原、藤本

永田 (OB)、楠元 (都島・リリオ)、中澤清、世木田 (OB)、原田、田辺、中澤勝司

コンサート後すぐの「反省会&懇親会」とあって、出席の方がたくさんでした。笑顔が素敵だったのと、お名前を憶えて頂きたく、写真とお名前を掲載しました。前日の買い物に行かれた委員の皆さんありがとうございました。

大阪市コミュニティ合唱祭

2019年9月23日に「つるみ日建ホール」において、11組の混声合唱団による第9回大阪市コミュニティ合唱祭が開催されました。前年に続き我が団は第1部トップバッターで登場し、楽劇『ローエングリン』から「婚礼の合唱」、混声合唱『土の歌』から「大地讃頌」を演奏しました。第2部合同合唱では木村俊明先生指揮のもと数種の混声合唱曲集から「未来へ」「もうすんだとすれば」「サッカーによせて」「ほらね」「群青」を演奏しました。今回の合同合唱曲は、日頃の生活の中で起こる辛いこと、悲しいこと、苦しいこと、自然による災害等にくじけず、人々の力で立ち上がり、希望に満ちた未来へ向かおうとする曲が集められました。どの曲も歌っている内に胸に込み上げてくるものがあり、多人数で歌う合同合唱ならではの大きな感動を味わいました。10回に渡りご指導下さいました木村俊樹先生、ありがとうございました。

天満のキャッスルホテルでの懇親会は余興などで盛り上がり、大変楽しいひとときでした。お世話になりました皆様、ありがとうございました。

今後のコンサート予定

○ひら混ジョイ・コーラス	5月24日(日)	クレオ大阪南
○大阪市コミュニティ合唱祭	9月21日(月、祝)	ザ・シンフォニーホール
○平野区クリスマスコンサート	未定	コミュニティプラザ平野

編集後記：団だよりにご協力頂いた皆様、ありがとうございました。コンサートが日曜の午後の開催で、新たなお客様が増えたと思います。20周年を節目に一段と羽ばたいていきたいですね。2020202を合言葉にひらの混声合唱団 ONE TEAMで頑張っていきましょう！

(後藤・萩原)